

広島駅南口開発株式会社経営状況報告書

1 作成基準日及び作成担当部署

作成基準日 令和8年3月31日
作成担当部署 広島市都市整備局都市機能調整部

2 第三セクター名等

第三セクター名 広島駅南口開発株式会社
第三セクター所在地 〒732-0822 広島市南区松原町9番1号
電話番号 (082) 262-9243

設立年月日 昭和63年11月1日 ホームページアドレス <https://yaleyale.co.jp>

3 資本金

59億6千万円（資本準備金を含む。市出資額：37億6,150万円、出資割合：63.1%）

4 事業内容

- ① エールエールA館の管理
- ② エールエールA館専門店街の運営
- ③ エールエールA館駐車場の運営
- ④ 広島駅南口地下広場の管理受託

5 財務状況

貸借対照表 から	項目	金額（千円）			損益 計算 書 から	項目	金額（千円）		
		5年度	6年度	7年度			5年度	6年度	7年度
	資産	30,620,141	25,102,551	24,661,446		総収入※1	1,676,840	1,744,670	2,572,033
	負債	24,578,570	19,279,211	18,665,326		（うち市からの 補助・委託等(税込)）	125,347	210,636	861,696
	（うち有利子負債）	20,743,379	15,933,379	15,733,379		経常利益	△13,788	△8,746	222,060
	純資産	6,041,571	5,823,339	5,996,120		当期利益	△403,242	△218,232	172,781
	利益剰余金	81,572	△136,660	36,121		減価償却前 当期損益※2	△73,013	102,719	502,615

〔注〕記載金額は千円未満の端数を四捨五入して表示

※1 総収入＝売上高＋営業外収益＋特別利益

※2 減価償却前当期損益＝当期利益＋減価償却費＋長期前払費用償却

6 常勤役職員の状況

役員数（うち地方公共団体出向者・退職者）	職員数（うち地方公共団体出向者・退職者）	職員平均年齢
3（1）	12（2）	58.3

7 第三セクターへの関与の状況

（1）公的支援（フロー）

項目	金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）
	5年度	6年度	7年度	
①補助金	—	—	—	
②利子補給金（補助金）	—	—	—	
合計	—	—	—	

（2）公的支援（ストック）

項目	金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）
	5年度	6年度	7年度	
①損失補償契約に係る債務残高	15,765,876	10,955,876	10,755,876	令和2年度決算から損失補償適用
（将来負担額）	(0)	(0)	(0)	
（将来負担参入率）	(10%)	(10%)	(10%)	
②貸付金残高	4,150,000	4,150,000	4,150,000	
③出資金残高	3,761,500	3,761,500	3,761,500	
合計	23,677,376	18,867,376	18,667,376	

8 地方公共団体による監査結果

特になし

9 その他の特記事項

(1) 広島駅南口開発株式会社によるエールエールA館活性化への支援について

広島駅南口開発㈱は、広島駅南口広場再整備等が進み、J R広島駅ビルの建替えなどによる新規の店舗等が見込まれる中、J R広島駅とエールエールA館とのペデストリアンデッキによる接続を契機に、A館が今後とも設立目的（広島駅周辺地区を本市の陸の玄関にふさわしいまちとするため、再開発の促進を図るとともに再開発ビルの管理運営等を行うこと。）に沿った安定した経営を行い、将来的な発展を目指していくため、本市及び関係金融団と「支援スキーム」を策定（令和3年3月）し、長期的に健全で安全した経営に取り組んでいる。

○支援スキーム

関係金融団	○新規融資（60億円、金利0.8%）
	○長期貸付金（約124億円）の金利引下げ（0.95%→2.8%→0.8%）
	○長期貸付金の返済期間延長（20年間（返済完了年度：R19→R39））
核テナント	○令和3年4月から20年間の長期賃貸借契約を締結し、A館活性化に取り組む。
広島駅南口開発㈱	○各テナント等と連携し魅力あるエールエールA館リニューアルを実施するとともに、将来にわたってA館活性化に向けた取組を実施。
広島市	○関係金融団からの融資に対する損失補償（限度額約184億円） （内訳） 約124億円 金利引下げ等を行う既存借入金 48億円 核テナントとの次期賃貸借契約締結に伴い必要となる借入金（敷金の一部返還） 12億円 A館の館内通路や猿猴川左岸の河岸緑地に接続するペデデッキ整備に必要となる借入金 約184億円（合計）
	○市貸付金（41.5億円）の金利引下げ（1.0%→0.1%） 権利の放棄前後の利息見込の差額は、約6.6億円
	○市貸付金の返済期間延長（21年間（返済完了年度：R25→R46））